

## china ja

李医師が逝去し、人々は怒りを爆発させました。政府が感染症の情報を隠蔽し、感染拡大を招いたことに対する不満に加え、言論の監視に対する不満も表明されました。人々が SNS で「言論の自由が欲しい」と叫ぶ中、規制当局は依然として大量の投稿を削除しています。私たちには何も変えられないかのようです。

一方では、政府の一部の指導者が、感染症の隠蔽や真実の隠蔽を厳しく罰し、透明性を確保すると述べています。しかし、私たちは国家卫生健康委員会が公表した死亡者数には確かに水増しがあり、GDP の総量と成長率の数字にも確かに水増しがあることを知っています。主席は、何百何千もの腐敗分子を罰しないと、13 億人を罰することになると述べました。しかし同時に、私たちが李文亮を悼むことには依然として多くの困難が伴い、多くの記事や動画が削除され、トレンドから徐々に外れていく状況が続いています。

警察や CCTV のアナウンサーたちは、彼らの仕事をしており、上からの指示に従って行動し、彼らの職務を果たしています。主席も無力に見え、党中央の指導者たちも無力に見え、各レベルの指導者たちも無力に見え、基層の役人や公共事業の職員たちも無力に見え、人民も無力に見えます。腐敗した分子の権力は本当にそれほど大きく、広範なのでしょうか。

同様の問題は数多く存在し、誰も間違っていないのに、それでもなお多くの不正義と悪が満ちています。個人はしばしば暴力を受け、尊重と自由を欠いています。一人の人間が WeChat のグループで家族や友人に注意を促すことさえ許されない状況で、どうして健康で尊厳を持ってこの社会に生きることを望むことができるのでしょうか。

この土地では、誰もが容易ではないようです。一般の人々は物価や住宅価格の高騰に直面し、必死に働いています。党中央の指導者たちも日々多忙を極めています。国家主席もまた、容易な道を歩んできたわけではありません。彼が幼少期を過ごしたのは文化大革命の時代で、彼の家も搜索され、父親は打倒されました。

私は、今日の中国が直面している困難は、この土地の歴史、体制、そして人々が共に作り上げたものだと思っています。

清朝末期から民国時代にかけて、1840 年から 1949 年までの期間、我が帝国王朝は本来平穏であり、内政は腐敗していたものの、それはあくまで我々自身の問題であった。しかし、外部からの侵略が始まり、最初は貿易を望むと言いながら、それが許されないと大砲で国門を開き、アヘンで国民を腐敗させようとした。

彼らは正義なのでしょうか。ファシスト帝国の侵略戦争は正義なのでしょうか。

その後、林則徐、李鴻章、孫文、毛沢東などが立ち上がりました。1946 年、国民党と共産党は国家の共同統治について協議し、重慶会談を開催しましたが、不首尾に終わりました。蒋介石も毛沢東と協力するつもりはなく、相手を滅ぼすことしか考えていませんでした。だから、中国の現

在の一党制は共産党が望んだものではなく、歴史がそれを舞台に押し上げたのです。毛主席がこれほどの権力を手にしたのは、彼が望んだことでしょうか。彼ももともとは善良な人物でしたが、困難と戦争の残酷さが彼を無情で残酷な存在に変え、悪人よりもさらに悪い存在に変えたからこそ、勝利し、生き残ることができたのです。

だから、一人の人間がこれほどの権力を手にした後、腐敗しないでいられるだろうか？正直で善良であり続けられるだろうか？嘘をつくのが簡単か、それとも本当に仕事をするのが簡単か？本当に仕事をするのはとても大変だ。Huaweiのような会社を作るのが簡単か、それとも P2P 金融会社を作ってお金を稼ぐのが簡単か？

最高の地位に立つと、毛沢東主席の本能的な反応は、いかにしてあらゆる手段を尽くして自分の権力を守り、周囲の人々に権力を奪われないようにするかでした。そのため、自然と、一つの方法として、全国の民衆に自分を崇拜させ、非常に高い声望を築くことができました。もう一つの方法は、周囲の同じく声望のある人物に警戒を怠らず、必要に応じて政治運動を起こし、党内の他の同志や社会の知識人、自分を崇拜する学生グループに助けをもらい、正当で民心を得る理由の中で政敵を排除することでした。そのため、反右傾、反右派、文化大革命といった一連の政治活動が見られ、小さなグループでは政敵を排除できないときには、より大きな同僚の力を借りるしかありませんでした。

これは彼が望んでいたことなのか。彼はあまりにも高い位置にいて、あまりにも危険だ。危険な状況に遭遇すると、人間の本能は生存を求める。だから彼はどうやって生き残り、どうやってこの位置に居続けるかを考えざるを得なかった。スターリンはさらに残忍にも多くの政敵や異論分子を排除した。

したがって、中国で発生している社会統治の問題を理解するためには、ほとんどの場合、一つの原則を把握するだけで十分です。それは、彼らが自分の利益のためだけに行動しているということです。そうすれば、多くの混乱や迷いを理解することができます。研究所の所長は、自分の出世と金儲けのためだけに行動しています。省長や市長も、自分の出世と金儲けのためだけに行動しています。腐敗した末端の役人たちも、自分の利益のためだけに行動し、少しの権力でもあればお金を稼ごうとします。立ち退き補償金や貧困補助金を横領する村の役人たちも、自分の利益のためだけに行動しています。彼らが何を言っているかではなく、何をしているかを見てください。彼らの行動をしっかりと見てください。

その時代、毛主席は、党内の善良な人々は早くに死に絶えたと言いました。善良な人々には野心がありません。楊絳は、私は何も争わない、誰と争うのも私には価値がないと言いました。善良な人々の多くはこのような態度です。追い詰められて初めて、私は争います。だから、私たちの社会では、農村でも都市でも、あの喧嘩や罵り合い、反抗は、人々を追い詰めた結果であり、善良な人々を追い詰めた結果なのです。

まず、多くの善良で良い人々は、役人になりたがりません。彼らはただ仕事を持ち、自分自身を

養うだけで十分だと考えています。彼らは社会の中で沈黙する大多数であり、自分の生活をしっかりと送りたいと思っています。また、多くの有能な人々も、役人になることを軽蔑しています。彼らは経験を積むことに時間をかけたくないと考えています。彼らは能力が高く、市場経済の中で自分の能力で生きていけばいいと考えています。会社の中では、おべっかを使う人々と競争することさえ面倒だと思っています。

公務員試験に合格し、地方の公務員として、政府機関や公共事業の行政機関で基礎的な仕事をしていると、次第に物事が見えてきて、上司に取り入ったり賄賂を贈ったり、派閥を作ったりすることに興味がなくなります。自分の小さな権力を利用してお金を稼ぐことや、より大きな役職に就いて財を成すことにも興味がありません。そのため、多くの人は地道に基礎職員として自分の仕事をこなし、苦労しながら耐え忍んでいます。

一方で、一部の腐敗した人々は、自分の権力を利用して多くの利益を得て、派閥を作り、上司に賄賂を贈り、上司におべっかを使い、上司と同盟を組んで、結果的にどんどん出世していく。

人がいる所には、必ず「江湖（社会）」があり、争いがある。だから一般庶民や底辺の人々は、争いがそれほど激しくなく、善良で、自分の生活を安心して送る人が多い。しかし、上層に行けば行くほど、野心家や自己中心的で、偽善的で狡猾な、利己的な人が多くなる。改革を望み、良くしようとする人も、一步一步上を目指すうちに敗れ去る。なぜなら、悪人があまりにも多く、自分が生き残り、地位を保つためには、悪事を働かなければならず、そうでなければ淘汰されるか、一生を耐え忍ばなければならないからだ。

政府、企業、学校には、それぞれ類似点があります。政府の政治闘争が最も激しく、企業がそれに次ぎ、学校が続きます。

学校では学生同士の争いもあります。なぜ悪い人になろうとするのでしょうか。悪い人になるのと良い人になるのとどちらが楽かと言えば、もちろん悪い人になることです。もし法律や周囲の人々の倫理的評価がなければ、きっとみんな悪い人になるでしょう。

学校では、真面目に授業を受け、宿題をこなし、しっかり勉強する学生は、退屈な生活を送っています。もちろん、不良学生ほどの面白さや自由はありません。不良学生は喧嘩をしたり、女の子を口説いたり、授業をサボったり、仲間を集めたり、タバコを吸ったり、お酒を飲んだりして、とても充実した自由な生活を送っています。もし先生がいなければ、良い学生は常にいじめられるでしょう。私たち全員が授業をサボり、タバコを吸っているのに、あなたは何を気取っているのですか。あなたが気取っていると、私が墮落しているように見えるではありませんか。

良い学生だったので、口を閉ざすことや、いじめや規律違反を受け入れることも学びました。そうしなければ生き残れなかったからです。私は派閥を作らず、一人でどうやって群れに対抗できるのでしょうか。そして女子生徒たちも、しばしば悪い学生の方が好きでした。わあ、かっこいい、自由だな、タバコを吸ってお酒を飲んで夜食を食べるなんてかっこいい、勉強なんて疲れる。悪い学生はもっと直接的で強引で、女子をからかうこともでき、一人が引っかからなければ次の人

に変わる。良い学生は、告白もできず、言葉もつかえ、女子に断られるととても悲しくなる。

この世界もまた、そうではないだろうか。悪い学生は、早くから一つの道理を悟っている。この世界に公平や正義など存在せず、強い者と弱い者しかいない。法律は強者によって定められているのだ。あなたが正義を貫き、善良であっても、何の利益があるのか。神があなたに勲章を授けてくれるのか、それとも政府があなたにお金をくれるのか。悪い学生は悪事を働き、良い学生はどうしようもなく、自分も悪くなってしまう。少なくとも、いじめられないように、無情で残忍になり、怒りを表さなければ、相手はあなたをいじめないだろう。あなたが誰かを無条件に許せば、その人はあなたを無条件にいじめる。誰が善良で、誰が気にせず、誰が名誉や利益を気にせず、誰が無欲であれば、その人は愚か者だ。

私は今日、善良さと正義をクソだと思っている。誰が私をそうさせたのか？生まれつき悪い人間がいるのか？社会が私をそうさせたのだ。この土地で学び、働き、生活することが私をそうさせたのだ。

房价がこんなに高い中、私は本業の仕事の他に、上司に内緒で副業をしています。これは私が自己中心的で感謝の気持ちがないからでしょうか？私に何か方法があるのでしょうか？私はただ友人や家族に、人から人へ感染するインフルエンザウイルスが出現したので注意するように伝えただけなのに、デマを流したと言われました。私は故意に法律を犯したのでしょうか？都会では何をしてもお金を稼ぐのが難しく、家賃や物価も高いので、私は農村に戻って発展しようとしています。私に何か方法があるのでしょうか？あの悪い人たちが汚職や賄賂をして、派閥を作ってどんどん出世していく中、他の人も派閥を作っているので、私も同調せざるを得ません。私に何か方法があるのでしょうか？他の会社が政府のプロジェクトに入札する際に賄賂を贈っているのに、私の会社には何か方法があるのでしょうか？私の会社は能力だけで選ばれることができるのでしょうか？あなたがどんなに大きな能力を持っていても、人々に何を与えられるのでしょうか？キラキラした百万、千万に勝る魅力があるのでしょうか？

党の高層部にも様々な派閥があり、表に出ない利益の駆け引きがあります。主席が一部の腐敗分子を取り締まったとしても、全ての腐敗分子を取り締まることは可能でしょうか。悪人は全て殺し尽くせるでしょうか。歴史的に残された多くの権力者一族、複雑に入り組んだ派閥関係、それらを整理し、正当な利益と違法な収入を区別し、極悪の派閥と小悪の派閥を分けることはできるでしょうか。

人間の本能は、自分の利益を追求することです。多くの人々の本能に対抗し、彼らに利益を放棄させることは、どれほど難しいことでしょうか。彼らが倒れても、他の腐敗分子が現れるのではないのでしょうか。

历史上のすべての王朝において、どの王朝も腐敗がなかったわけではなく、どの王朝も最後には腐敗分子が溢れかえっていました。人間の本能に対抗することは非常に困難です。それは、普通の庶民に残り少ない数万円を寄付させたり、結婚や子供を産むことをやめさせようとするよ

うなものです。それらの役人たちはすでにそのような権利を持ち、自身の権力と利益を持ち、家族の利益も深く結びついています。これらの権利は、普通の庶民が食事や睡眠を取る権利と同じように、人々に放棄させることができるでしょうか。

たとえ私自身が腐敗しなくても、このような地位にあり、このような権力を持っていると、私の家族は腐敗の心を持たないでしょうか。私は彼らと関係を断ち切らなければならないのでしょうか。家族と関係を断ち切ったら、私は同盟者を見つけることができるでしょうか。自分自身を守ることができるでしょうか。

普通の人々も忍耐して受け入れることを学び、一步一步現在に至り、耐えられなくなって初めて反発する。だから今日、あなたは黙って真面目に生きることができるが、一旦言論の自由を持ちたい、少し逸脱したことをしたい、悪人を批判し打倒したい、既存のルールと死闘を繰り広げたい、変えたいと思ったら、それは天を登るほど難しいことになる。

党のすべての同志たちの共通の利益要求は、党を守り、自分たちが既に持っている権力と利益を守ることです。彼らも仕方ありません、その立場にいるからにはその政務を謀るのです。

人々の利益要求は、良い社会環境があり、そこで生活し働き、比較的楽しく幸せで自由に日々を過ごすことです。

両者の利益追求は一致しないため、頻繁な衝突が見られます。そのため、政府はメディアを使って人々の目をくらませ、適切に大衆の欲望を満たすことで大衆に対応しなければなりません。

歴史の改革は、非常に悪い状況に陥った時だけ、人々が改革に乗り出すことを示しています。ある本には、政権が最も危険なのは、最悪の状態にある時ではなく、改革を試みる時だと書かれています。

5000年の中国社会、70年以上の政権は、一朝一夕で変わるものではありません。

だから、みんなもできるだけ我慢する。ある日、誰もが我慢できなくなるまで腐敗が極限に達すると、変化を求めるようになる。あるいは大多数が我慢できなくなり、生きていけなくなると、少数の極めて腐敗した分子と決死の戦いをすることになる。

歴史が証明しているように、中国で革命が起こるのは悲惨なことでした。毛沢東の指導のもと、中国共産党は1921年から1949年までの28年間を経て、ようやく全国の政権を掌握しました。

この70年間、政府と国民は多くの面で常に進歩を続けてきました。

例えば言論統制について言えば、以前は反対意見を口にするこす許されず、隣人に告発され、打倒されることがありました。その後、プライベートでは話せるようになりましたが、公の場では話せませんでした。現在のインターネット時代では、投稿が削除されることもありますが、監視の難しさを考えると、プライベートな会話や小規模な範囲で話すことは可能です。また、話せる内容の範囲も徐々に広がっています。

テクノロジーの進歩と市場経済の主導のもとで、人々は生活の物質的な豊かさが大きく向上していることに気づいています。人々の知識と文化レベルはますます高くなり、スマートフォンで使用するアプリやさまざまな情報コンテンツは、他の進歩した人々によって提供されています。物質的に非常に豊かであり、精神生活も非常に自由です。

人々は豊かな物質生活や自由なインターネット技術に慣れ親しんでいましたが、突然の大ブレーキにより、社会にはまだ多くの不備があり、大きな事故の前には次々と過ちを犯していることが明らかになりました。私たちは自由に慣れきっていたため、突然その自由が失われたことに気づき、政府に対して不満を抱き始めました。政府は、国民がそれほど簡単には満足しないこと、国民の要求がますます高くなり、求める自由がますます多くなっていることに気づきました。

しかし、この数十年間、政治体制はほとんど変わっていないように見えます。依然として多くの腐敗が存在しています。

微信やAlipayのようなアプリケーションは、政府のウェブサイトや社会保障・住宅積立金のウェブサイトと同様に、ユーザーのことを非常に考慮していますが、政府部門のウェブサイトは使えればそれでよいというスタンスです。

競争は進歩を生み、独占は腐敗を生む。これは永遠に変わらない真理のようだ。もし私たちが自由にどの国で生活するかを選べるなら、政府は最大限の努力をして変革を起こすだろう。しかし、私たちのほとんどはそれができない。私たちの祖先や親たちはここで生活してきたし、自分自身が離れることはできても、家族や親戚は離れることができない。

競争による労働は、どれほど大変なことか。WeChatのようなアプリを作るのは、どれほど苦勞し、面倒なことか。人間がやることではない、情熱に満ちた人だけがその代償を払うことをいとわない。政府のウェブサイトを作るなら、使えればそれでいい、市民が使えればそれでいい、彼らは必ず私のものを使うのだから、なぜそんなに力を尽くす必要があるのか、上司に報告できればそれでいい。

西洋の思想家は、権力は腐敗を生み、より大きな権力はより大きな腐敗を生むと言います。それで私は、中国では個人の権力が大きすぎるのではないか、政府の権力が大きすぎるのではないかと考えました。確かにその通りです。中国を多くの小さな国家に分割し、中華連邦を構成することはできないでしょうか。各州がそれぞれ国家となり、自治管理を行うのです。そして、国際組織のように、国連組織、世界保健機関、国際刑事警察機構、国際オリンピック委員会のような組織を設立し、協力を行うのです。つまり、中央組織の権力を弱め、できるだけ権力を分散させ、各省が完全に自治を行うようにするのです。EUのような形です。

しかし、このような大規模な変革は、どのように分割するのでしょうか？必然的に大きな影響を及ぼし、多くの人々の利益を損なうことになります。各方面での変動が大きすぎるため、核兵器などの技術や軍事などの権力をどのように分割するかが問題となります。

このような中華連邦は、多くの不安定要因を引き起こす可能性もあります。例えば、その中の二

つの小さな国が互いに戦争を始めたり、強力な省や国が中国全土を再び占領しようと企んだりするかもしれません。想像するのも恐ろしいことです。

したがって、歴史を振り返ると、中国の変革は非常に激しく、誰も予測できないものでした。各権力派閥が何を考えているかも複雑です。未来は、誰にも予測できません。

『万暦十五年』に書かれているように、明朝も腐敗が横行し、活気が失われていました。首輔の申時行、大学士の張居正、官僚の海瑞、将軍の戚繼光、哲学者の李贄など、皆が変革を望んでいましたが、誰もそれを成し遂げることはできませんでした。古代王朝の制度は終焉を迎えていたのです。その後、清朝が続きましたが、1587年に起こった出来事はすべてを予兆していました。

個人は社会において非常に小さな存在です。個人として、私たちは無力に感じる場合があります。今や、中国だけが独自に遊んでいるわけではなく、王朝は繰り返し変わることができます。私たちは西洋の自由と平等の価値観を享受し、インターネットがもたらす自由と平等を享受した後、古い体制に頭を下げることはもうないようです。大きな視点で見れば、人類の歴史は災害の歴史であり、同時に絶えず進歩と発展を遂げてきた歴史でもあります。

今日の私たちの生活を見ると、享受している物質とサービスは、10年前の富豪や昔の皇帝よりも豊かです。例えば、スマートフォン上の無数の高品質なアプリやコンテンツが挙げられます。しかし、私たちと西洋との違いを見ると、どうしても悲しくなります。私たちは政府を批判することができず、真実を得ることができず、しばしば騙され、尊重されず、集団に従って大きな犠牲を払わなければならない、一人一票の権利を持っていません。

どんなに暗い長い夜も、やがては陽の光が差し込むものです。ナチスの強制収容所でさえ、生きている限り、私たちには一つの自由が残されていました。それは、自分の態度を選ぶ自由です。私たちの制度は激しい競争を生み出し、その競争の中で、一部の人々は人間性を失い、無情で残酷になってしまいました。しかし、私は思います。大多数の人々は、やはり善良なのだ。

だからこそ、私たちは今日持っているものを大切に、自由や平等、尊重といった基本的な人権を追求し続け、正義と善良さを称賛し、怒るべき時には怒り、抵抗すべき時には抵抗し、大衆と密接に連携し、流れに乗って行動し、より良い未来が来ると信じるべきだと思います。